

ネイパル森

親子でネイパル～雪となかよし編～

1 事業のねらい

- 雪や冬の寒さを活用した活動を通して、子育てに体験活動を入れることの重要性について理解を深める。
- 家族同士の交流を通して、子育てについての悩みや不安の解消を図る。

2 事業の概要

- 期日 R7.2.15(土)～16(日) 1泊2日
- 対象 年中～小学校3年生の子どもを含む家族 20組
- 人数 21家族68名(申込26家族83名)
- 場所 ネイパル森
- 講師 平井明菜氏、菅野由利香氏

3 プログラム

	10:30	10:40	12:00	13:00		16:00	17:00	18:00	19:00	21:30
2/15(土)	受付	開会式	親子であそぼう	昼食	秘密基地を作ろう	休憩	夕食	夜の森へとびだそう	入浴・自由	就寝
	7:00	8:30	9:00	(保護者)アロマで癒しタイム		10:45	11:15	11:30		
2/16(日)	起床	朝食	片付け	(子)メッセージカードをつくろう		ふりかえり	閉会式	解散		

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 体験活動を通して子どもを見つめる機会の創出
 - ・保護者に対して、子どもの行動を観察するよう伝えるとともに、ふりかえりで他の保護者と意見交換を行うことで、保護者が子どもの成長や変化に対する気づきを深められるようにした。
- 保護者同士の交流を促進するための仕掛けづくり
 - ・イグルーづくりでは、参加者全員が協力して活動する機会を創出することで、交流を促すようにした。
 - ・2日目に保護者と子どもの活動を分けて設定するとともに、講師自身の子育て体験について話題提供してもらうことで、保護者同士が子育てについて話しやすい環境を創出した。

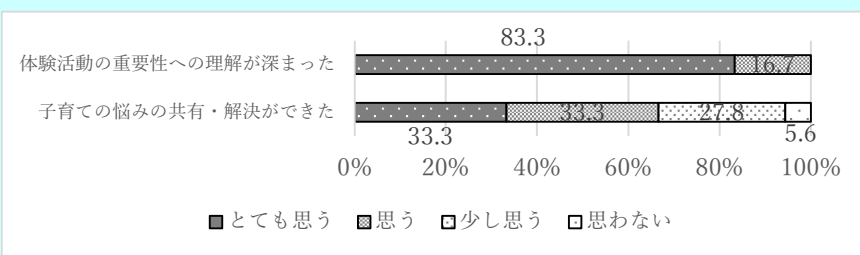


参加者が協力したイグルーづくり



ナイトハイクで星空を観察

5 事業の評価 (事後アンケートより)



- “体験活動の重要性への理解が深まった”や“子育ての悩みの共有・解消ができた”について、肯定的な回答が多く得られた。
- 「家庭で見せる様子とは異なり、我が子が活発に活動している姿が見られて良かった」「他の保護者の子どもへの接し方を見ることで、今後の子育てへのヒントが得られた」などの感想が寄せられた。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 保護者の多くは、イグルーづくりやナイトハイクを自らも体験することで、子育てに体験活動を入れる重要性について理解を深めることができた。
- 活動全般を通して、保護者同士が打ち解け合い、日頃抱える悩みを共有することができた。
- 本事業の成果を活用して、子育てに体験活動を積極的に取り入れることの重要性を広く保護者に周知するための啓発用資料の作成が必要と考え、その制作に着手した。



企画のポイント

子どもの成長や変化を見つめる機会の創出と、保護者同士の交流を促進するための仕掛けづくり。